

2016年3月期 第3四半期 決算補足資料

2016年1月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況（単独ベース）
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況（単独ベース）
- 7) ファイナンス事業の営業状況（単独ベース）
- 8) リサ事業の営業状況（営業利益）
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達の状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2016年3月期計画

- 1) 連結業績予想

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は、前年4月に実施された消費増税の影響がなくなり前年同期比増加
- ・資金調達環境は引き続き良好な状況を維持
- ・倒産状況については、倒産件数は、6年連続の前年同期比減少となるものの、負債総額は、前年同期比増加となる

【営業トップライン】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高は前年同期比減少となるものの、成約高については前年同期比増加
- ・ファイナンス事業については前年同期比増加

<賃貸・割賦事業>

契約実行高： 2.4%減 成約高： 4.0%増

<ファイナンス事業>

契約実行高： 9.5%増 成約高： 10.3%増

【経営成績】

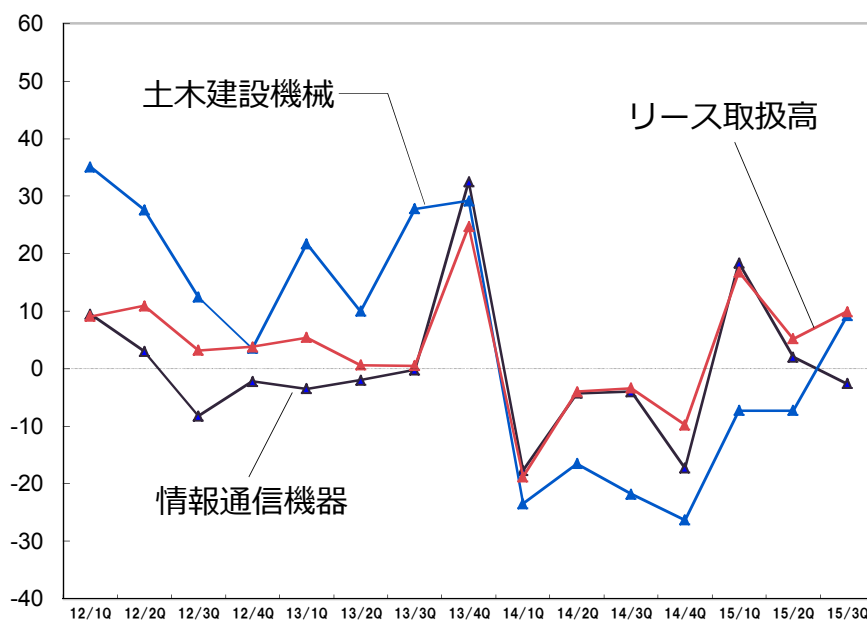
- ・リサ事業を中心に増収となるも、与信コスト戻入の減少などにより経常利益はほぼ横ばい

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

2) 事業環境

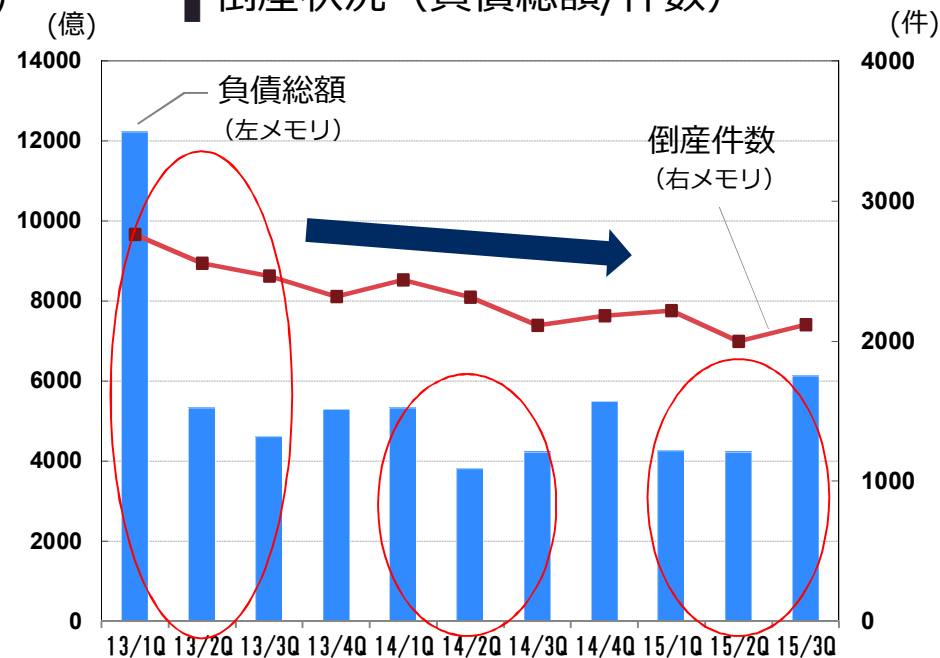
- リース取扱高：当社の主力である情報通信機器については前年同期比5.3%の増加
また、業界全体のリース取扱高についても前年同期比10.3%の増加
- 倒産状況：当第3四半期における倒産件数については、6年連続の前年同期比減少となるものの、負債総額については、前年同期比増加となる

リース取扱高の足元の動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計）

倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

3) 業績概要（連結）

- ・売上高 : リサ事業を中心に前年同期比5.4%の増加
- ・経常利益 : 与信コストの戻入の減少や、賃貸資産について減損損失を計上したものの、為替の影響により前年同期比横ばい
- ・自己資本比率 : 9.4% (14/12末) → 9.6% (15/12末)

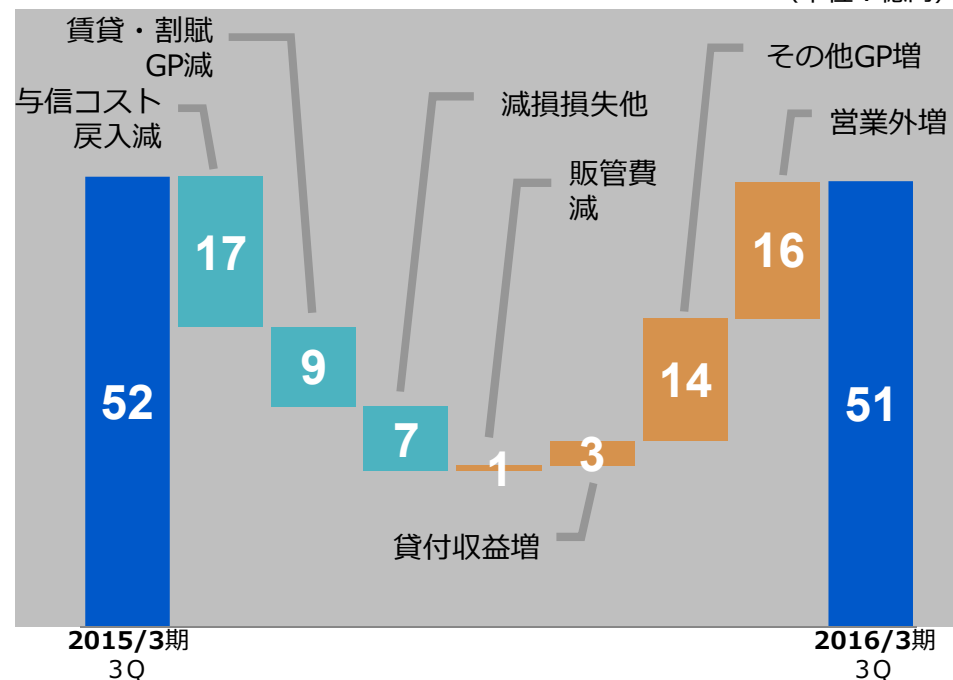
業績数値

(単位：億円)

	2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
売上高	1,457	1,536	5.4%
営業利益	64	48	▲25.2%
経常利益	52	51	▲1.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	39	35	▲11.3%
1株当たり四半期純利益	181円59銭	161円06銭	—
営業資産残高	7,191	7,202	0.2%
純資産	1,066	1,023	▲4.1%
自己資本	750	765	1.9%
自己資本比率 (%)	9.4	9.6	0.2
1株当たり配当金 (円)	22	22	—

経常利益前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

4) 事業別収益（連結）

事業別収益

（単位：億円）

		2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
貸貸・ 割賦事業	売上高	1,262	1,236	▲2.1%
	売上総利益	98	84	▲14.9%
	営業利益	58	33	▲43.6%
ファイナンス 事業	売上高	33	37	10.3%
	売上総利益	26	29	14.5%
	営業利益	20	16	▲18.3%
リサ 事業	売上高	57	132	129.7%
	売上総利益	28	33	17.2%
	営業利益	2	9	315.3%
その他の 事業	売上高	105	131	25.3%
	売上総利益	12	18	55.1%
	営業利益	▲4	2	-
計	売上高	1,457	1,536	5.4%
	売上総利益	164	164	0.2%
	営業利益	64	48	▲25.2%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<貸貸・割賦事業>>

- ・売上高は小口事業撤退の影響により前年同期比2.1%減
営業利益については、与信コスト戻入の減少等により前年同期比43.6%減

<<ファイナンス事業>>

- ・売上高は前年同期比10.3%増
営業利益については、与信コストの戻入の減少により前年同期比18.3%減

<<リサ事業>>

- ・売上高は販売用不動産及び営業投資有価証券の売却があったことにより前年同期比129.7%増
営業利益については、売上増に伴うGP増により前年同期比315.3%の増加となる

<<その他の事業>>

- ・売上高は、ヘルスケア関連の販売用不動産の売却により、前年同期比25.3%増
営業利益については粗利の増加により、前年同期比6億円改善し、黒字となる

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況（単独ベース）

事業別契約実行高

（単位：億円）

	2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
賃貸・割賦事業	1,021	996	▲2.4%
賃貸事業	961	935	▲2.7%
割賦販売	60	61	1.2%
ファイナンス事業	1,956	2,142	9.5%
営業貸付金	1,203	1,420	18.0%
一括ファクタリング	753	722	▲4.1%
その他の事業	25	33	32.8%
計	3,002	3,172	5.6%

事業別成約高

（単位：億円）

	2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
賃貸・割賦事業	1,202	1,250	4.0%
賃貸事業	1,138	1,202	5.6%
割賦販売	64	48	▲24.5%
ファイナンス事業	1,956	2,157	10.3%
営業貸付金	1,203	1,435	19.3%
一括ファクタリング	753	722	▲4.1%
その他の事業	25	32	25.9%
計	3,183	3,438	8.0%

《契約実行高》

- ・ 賃貸・割賦事業については、各種施策を推進するものの、前年大型案件計上の反動により前年同期比2.4%減となる
- ・ ファイナンス事業については、企業向け融資の伸長により前年同期比9.5%増となる

《成約高》

- ・ 賃貸・割賦事業、ファイナンス事業共に、各種施策が奏功し前年同期比増となる

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況（単独ベース）

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
官公庁	471	489	3.7%
民需	550	508	▲7.7%
サービス業	127	123	▲3.3%
流通業	103	130	27.1%
製造業	97	179	84.2%
その他	223	76	▲66.1%
計	1,021	996	▲2.4%

業種別成約高

（単位：億円）

	2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
官公庁	797	750	▲6.0%
民需	405	500	23.5%
サービス業	115	119	3.9%
流通業	92	133	45.0%
製造業	97	146	49.7%
その他	100	102	1.0%
計	1,202	1,250	4.0%

（参考）機種別賃貸事業契約実行高

（単位：億円）

	2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年同期比
情報通信機器	606	710	17.1%
電子計算機及び関連装置	304	319	5.0%
ソフトウェア	285	376	31.8%
通信機器及び関連装置	17	15	▲11.9%
事務用機器	36	28	▲20.7%
その他機器	380	258	▲32.0%
計	1,021	996	▲2.4%

- ・業種別の契約実行高は、官公庁が前年同期比増加
一方、民需については前年大型案件計上の反動により前年同期比減少
全体では、前年同期比2.4%減
- ・成約高については、民需が前年同期比大幅増加
全体では、前年同期比4.0%増

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

7) ファイナンス事業の営業状況（単独ベース）

契約形態別契約実行高

（単位：億円）

		2015/3期	2016/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
	立替・APF・割賦バック	73	79	8.3%
	個別ファクタリング	477	664	39.2%
	診療報酬債権流動化	2	—	—
	企業融資	551	578	4.8%
	その他	100	99	▲1.1%
	計	1,203	1,420	18.0%

業種別契約実行高

（単位：億円）

		2015/3期	2016/3期	
		3Q	3Q	前年同期比
官公庁 民需		5	6	26.5%
		1,198	1,414	18.0%
	サービス業	86	108	26.1%
	流通業	62	74	18.3%
	製造業	527	772	46.5%
	金融業・保険業	184	156	▲15.2%
	不動産業	98	86	▲12.4%
	その他	240	217	▲9.5%
	計	1,203	1,420	18.0%

- ・ 契約形態別の契約実行高については、個別ファクタリングが前年同期比39.2%増と大幅な伸びを見せた。また企業融資も前年同期比増加となり、ファイナンス事業全体では前年同期比18.0%増加
- ・ 業種別では、製造業及びサービス業他で前年同期比増加となり、民需全体では18.0%増加
- ・ グローバル展開の中で、海外案件についても実績拡大に成果

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況（営業利益）

（単位：億円）

		2015/3期 3Q	2016/3期 3Q	前年 同期比
アセットビジネス	売上高	35	71	103.0%
	売上総利益	23	22	▲5.9%
	営業利益	11	13	10.8%
不動産	売上高	18	57	222.7%
	売上総利益	2	8	389.7%
	営業利益	▲1	5	-
アドバイザー	売上高	5	4	▲11.8%
	売上総利益	5	4	▲9.1%
	営業利益	1	▲0	-
のれん他	売上高	▲0	0	-
	売上総利益	▲1	▲1	-
	営業利益	▲9	▲8	-
連結ベース 計	売上高	57	132	129.7%
	売上総利益	28	33	17.2%
	営業利益	2	9	315.3%

**前年同期比大幅な増収
のれん償却等を加味した
連結ベースの営業利益についても
大幅な増益**

<<アセットビジネス>>

- ・ 営業投資有価証券の売却及び配当収益等により、増収・増益となる

<<不動産>>

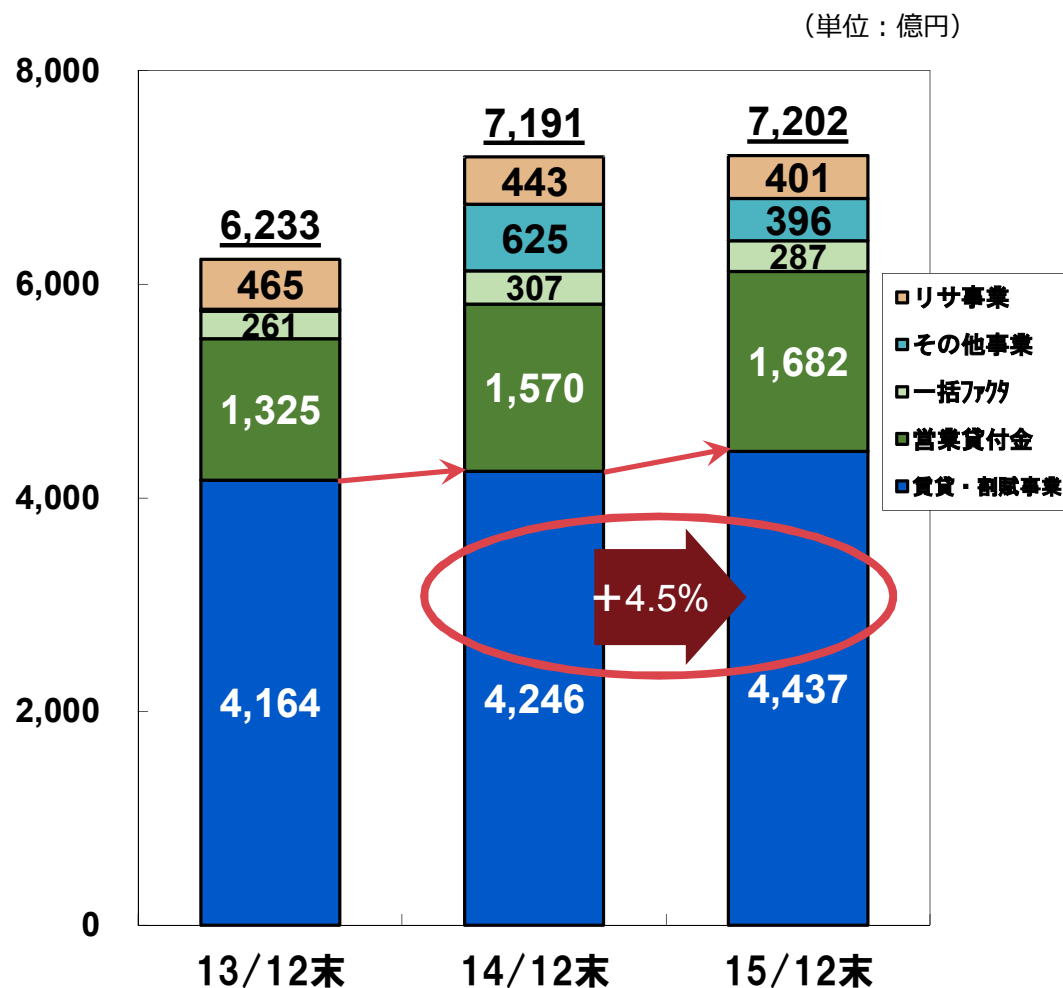
- ・ 販売用不動産の売却により増収・増益

<<アドバイザー>>

- ・ ほぼ前年並みの粗利を確保

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況（連結）



<<営業資産残高>>

- ・ 貸貸・割賦事業の残高は、前年同期末比191億円（4.5%）の増加

(億円)	14/12末	15/12末	前年増減
官公庁	2,487	2,573	85
民需	1,758	1,863	105
	4,246	4,437	191

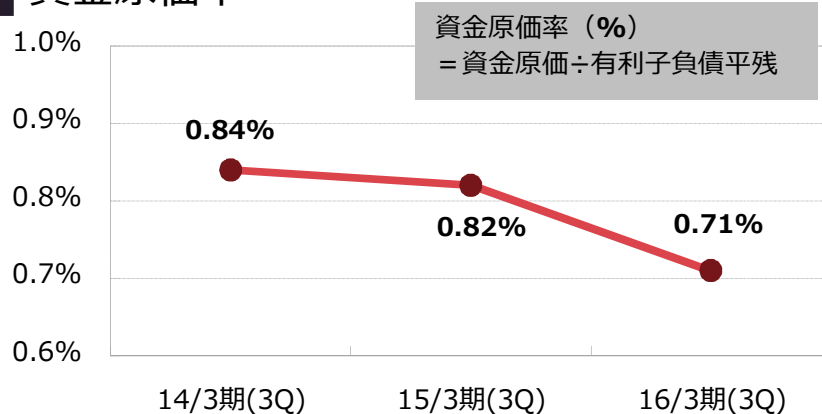
- ・ 営業貸付金の残高は、前年同期末比112億円（7.1%）の増加
⇒グローバル事業展開に伴って外貨建融資等の残高が増加
また、製造業向けのファクタリングが増えたことにより、個別ファクタが130億円の増加

- ・ その他事業の残高は、前年同期末比229億円の減少
⇒ヘルスケア関連の販売用不動産が231億円減少（14/12末 611億円→15/12末 380億円）

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

10) 資金調達の状況（連結）

資金原価率

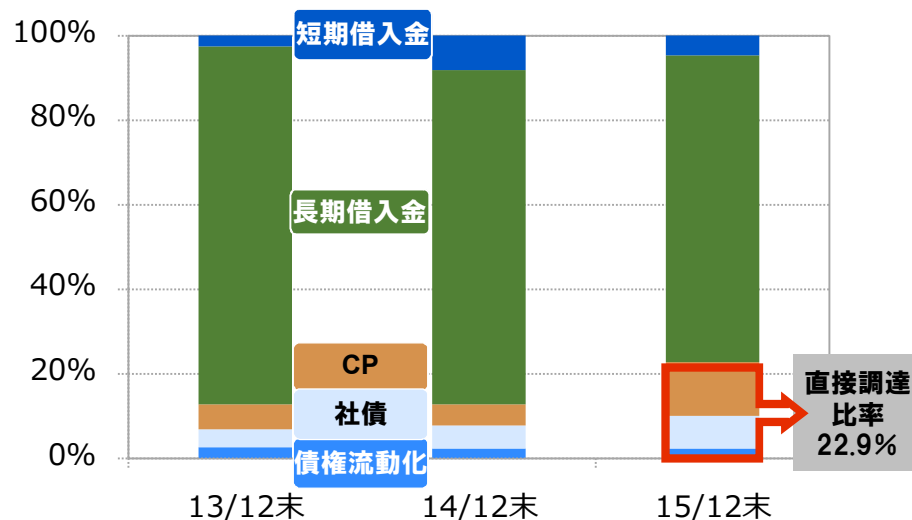


有利子負債残高

(単位：億円)

	2015/3期		2016/3期		増減
	3Q末	構成比	3Q末	構成比	
短期借入金	524	8.1%	302	4.7%	▲221
長期借入金	5,138	79.1%	4,697	72.5%	▲441
CP	330	5.1%	830	12.8%	500
社債	350	5.4%	500	7.7%	150
債権流動化	152	2.3%	152	2.3%	▲0
計	6,494	100.0%	6,481	100.0%	▲13

有利子負債構成比

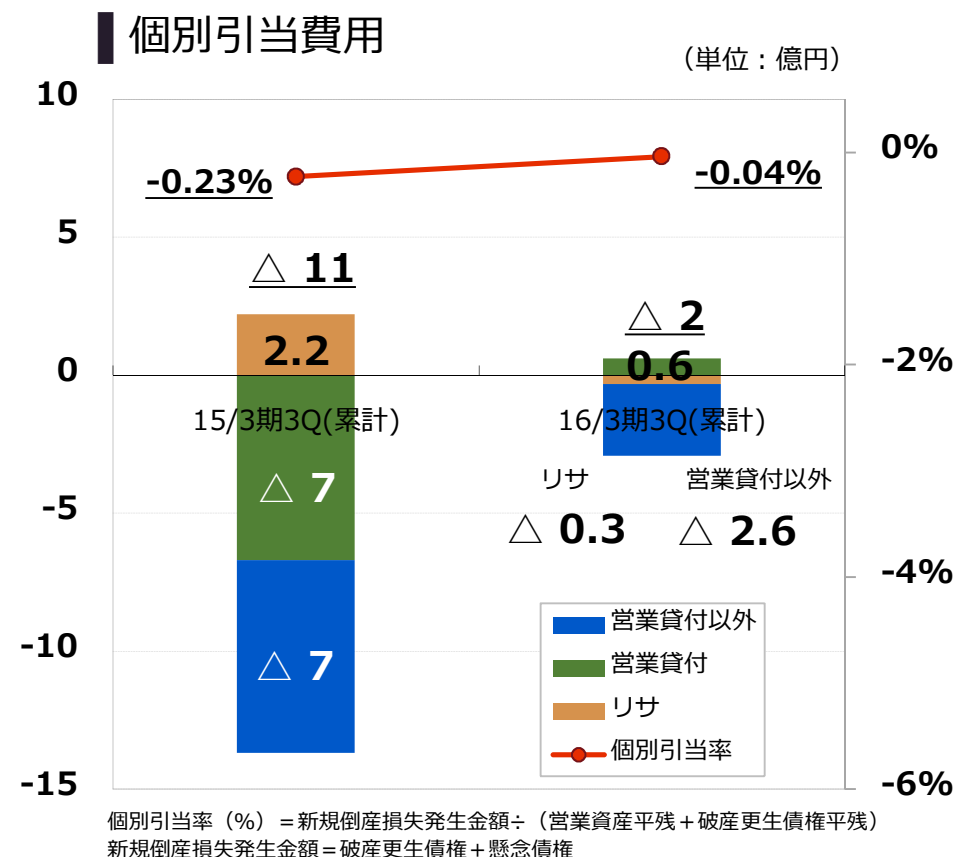
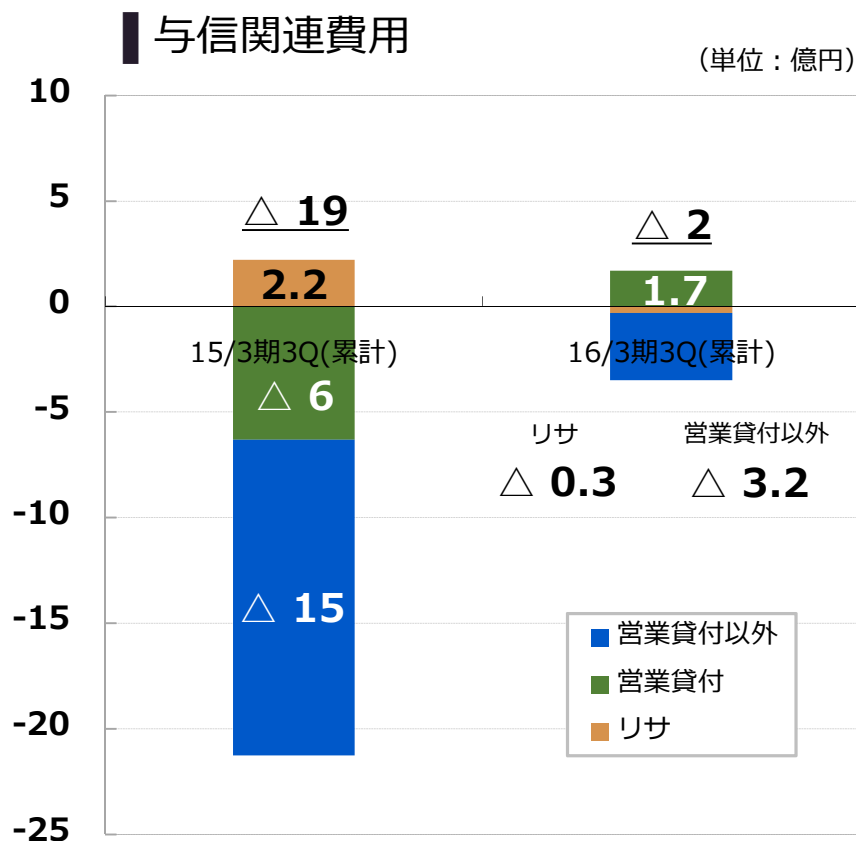


- ・ 資金原価率は0.71%と前年同期比0.11%減
⇒ 長期借入のCPシフト、調達スプレッドの削減等、各種施策により減少
- ・ 直接調達比率は上昇
(2014/12末 12.8% → 2015/12末 22.9%)
⇒ CP残高増加により上昇

1. 2016年3月期 第3四半期実績報告

11) 与信関連費用（連結）

- ・与信関連費用は、前年同期比17億円増加（内、一般8億円増加）
- ・個別引当費用は、貸倒引当金の戻入の減少等により、9億円増加



2. 2016年3月期計画

2. 2016年3月期計画

1) 連結業績予想

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	実績		予想
	2015/3期 通期	2016/3期 第3四半期	2016/3期 通期
売上高	2,139	1,536	1,900
営業利益	60	48	55
経常利益	47	51	55
親会社株主に帰属する純利益	28	35	35
1株当たり純利益（円）	130円81銭	161円06銭	162円54銭

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2016/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2015/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC